

木くばり



No.
166

発行
'18-5月号

今月の特集

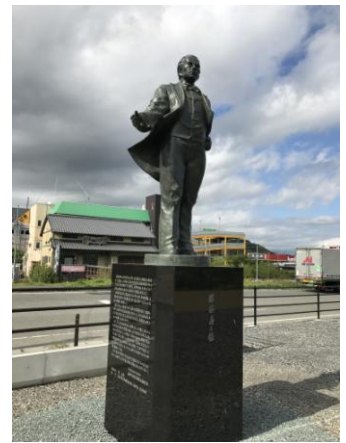
蓬莱橋と
その周辺

株式会社 ナガイ内

住まい教室 金谷教室

【蓬莱橋の歴史】

1869年(明治2年)、お茶に世界的な商品価値があると認識した勝海舟は、元旗本の中條景昭ら幕臣たち約300人に、不毛の地とされていた牧之原を開墾して茶畑とするよう命じました。当初、刀をクワに持ち替えた労働の日々は大変な苦勞の連続でしたが、勝海舟の莫大な資金援助や協力のかいあって順調に茶栽培が営まれるようになりました。やがて生活が安定すると、人々は大井川を小船で渡り買出しに出掛けるようになり、大変危険だった為、静岡県令(現在の静岡県知事)に橋をかける願いを出し、1879年(明治12年)1月13日に蓬莱橋が完成しました。しかし、木橋製の橋脚は大井川増水のたびに流失と補修を繰り返したので、1965年(昭和40年)4月にコンクリートの橋脚に変え、現在の姿となりました。



2018年2月 勝海舟像
蓬莱橋の袂に設置

全長897.4m、通行幅2.4mの蓬莱橋は1997年(平成9年)12月に「世界一長い木造歩道橋」として英国ギネス社から認定を受け、歩行者と自転車だけが通行できる賃取り橋として有名な観光名所となりました。

そしてこの度、蓬莱橋のたもとに、番小屋と島田市の物産販売所の新設、イベント広場の整備完了に合せ、島田市茶業振興協会島田支部では、牧之原大茶園の開拓に多大なる功績を称え、勝海舟の銅像を制作し蓬莱橋の袂に設置しました。



2018年3月
番小屋と物産販売所が新設

蓬萊橋展望台に大型フォトフレームが設置されました！



蓬萊橋を渡ると、展望台には島田工業建築科の生徒らが制作した大型フォトフレームが新たに設置されました。大きさ縦 2.4m、横 3mで以前蓬萊橋に使われていた橋桁の古木を使用して作成したそうです。ちょうどフレーム内に蓬萊橋が入るようになっています。

蓬萊橋は、897.4mから「厄無し」、「長い木の橋」から「長生き橋」など、厄払いや長寿祈願のご利益スポットとして知られています。このフォトフレームで記念写真はいかがですか？

また、蓬萊橋の対岸は散策路となっており、長寿祈願の鐘や七福神像などのご利益スポットも点在しています。

～七福神の由来～

七福神とはそれぞれのご利益と授けてくれる七体の神（仏）のことで、七対参拝することで七難即滅、七福即生となり福德を授ける神様です。

恵比寿、大黒、毘沙門、弁財、福祿寿、寿老神、布袋の七神です。



この度(株)ナガイでは新しく公式 LINE ページを公開しました。何かお困りのことや、質問もメールにて受付けます。よろしければ是非登録してください。



←公式 LINE の QR コードからお進みください。